



会報 いずみ

発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター

編集／広報委員会



〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
 メールアドレス：akishima@akishima-sc.or.jp

会員数 (平成24年6月26日現在)	男性 822人	女性 264人	合計 1,086人
ホームページ：http://www.akishima-sc.or.jp			

第二回定時総会開催

公益社団法人移行後の取り組み

梅雨の晴れ間、6月14日午後2時から昭島市市民会館大ホールにおいて、出席者334名、委任状503名、議決権行使届74名、合計911名で開会に必要な定足数を満たして開催され、すべての議案が承認されました。

最初に黒岩会長より東日本大震災や福島第一原発の影響で民間事業の需要が冷え込んだり、また適正就業への取り組みで平成23年度の事業実績は1,350万円減額となったこと、公益社団法人に求められるコンプライアンスを重視して本年4月1日から「公益社団法人昭島市シルバー人材センター就業基準」を施行していることなどが話された。さらに新制度下のボランティア活動として学童の下课時のパトロール実施や、今年もシルバーふれあい祭りを行うに当たって多くの会員の参加を望むこと、などの話がありました。

それに引き続き、名誉会長・北川穰一市長、来賓の西野文昭市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長には柳澤明会員が選任されました。以下、審議・承認された議案の概要です。

○報告

- (1) 監事報告 (鈴木監事)
- (2) 平成24年度事業計画及び予算 (伊藤副会長・田中常務理事)
- (3) 平成23年度事業報告

伊藤副会長 (総務)、奥山理事 (事業)、清水武理事 (広報)、清水辰男理事 (安全管理)

○議事

- (1) 公益社団法人昭島市シルバー人材センター定款の一部改正について
- (2) 平成23年度公益社団法人昭島市シルバー人材センター決算について
- (3) 役員の選任について
- (4) 公益社団法人昭島市シルバー人材センター総会議事運営規則の一部改正について

○質疑応答

- ① 会員増強について
- ② 事業拡大について
- ③ 監査報告書欄の押印について、

などの質問がありました。多くの議題がすべて承認されて午後4時30分に閉会しました。



新理事紹介



石合 進
70歳
多摩辺中学校地区
駐輪場管理



藤森 陸夫
72歳
昭和中学校地区
駐輪場管理

就業相談は「第1火曜」

シルバー人材センター会員になったが、仕事が見つからない、自分に向いた仕事があるのだろうか、などの悩みを持つ方は少なくないでしょう。そんなかたの悩み解決の手助けをするのが「相談の日」。

毎月第1火曜の9時30分～11時30分。
理事が相談に応じます。

年度会費のお知らせ

4月、5月に仕事をしていない方、もしくは、仕事はしているが、配分金が2,800円に満たない方には年度会費の振込依頼書が届きます。その振込依頼書が届きましたら、速やかに納入をお願いいたします。

退会を希望される方も4月1日時点で今年度の年度会費が発生しておりますので、納入をお願いいたします。

新就業基準に基づく「就業契約」の状況

この4月1日から施行された新しい就業基準に基づく、就業会員とセンターとで取り交わす就業契約書の終結状況ですが、皆様のご理解とご協力により順調に進んでいることを報告致します。

ただ初めての制度で就業契約書の作成に手間取り皆様へお渡しするのが遅れてしまい、申し訳なく思っています。なお、就業契約書がまだ手元にある方は、センターへ速やかに提出していただくようお願いいたします。

さて、この就業契約書の発行状況ですが、就業契約書が必要な方が実人数で682名、作成枚数は1、000枚超となりました。もちろんこれは、複数の仕事を受け持っている方は、その仕事の数だけ就業契約書が必要となるためです。

センターでは、今後も適正な就業と適正な請負に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

事務局長 石坂 勝彦

企業訪問レポート

事業部会長 奥山 毅

平成23年度事業計画にそって、例年の通り、発注先企業、事業所を事業部会員が手分けして2月8日から2月23日までに、9事業所を訪問しました。

訪問の主旨は

ア 今後の発注状況について
イ 新規事業の発注計画について
ウ 会員の就業状況について
エ 適正就業についての説明と協力の依頼について

各企業のおかれている経営環境は

- 固定経費増で経営が厳しくなっている
- 売り上げがのびない
- 売り上げが減少している

など大変に厳しい状況下においての企業訪問となりました。そのような中でも、各企業とも今後の発注状況については現状維持されるものと予想されます。

会員の就業態度については

- ◎ 熱心に仕事をしてくれる
- ◎ 大変良く仕事をしてくれる
- ◎ 2～3年前に比べて大変よくなった

◎ 就業態度は良好である

など総じて良い評価でした。唯一、就業報告書に「丁寧な字」で書き入れて欲しいとの要望がありました。今後とも誠実な就業態度で事業拡大につなげましょう。

子ども達と「昔遊び」を

事業部会 糟谷 修子

当センターでは毎年、光華小学校・玉川小学校から、お手玉・はねつき・竹馬・コマ回しなど「昔遊び」を子ども達と一緒にやって欲しいという依頼があり、現在10名ほどの会員が子ども達と楽しく交流をしています。

そこでこのような「昔遊び」を子ども達へ伝承することも私達の役目でないかと思い、興味のある会員を募ってグループを作り、幼稚園・保育園・学校などへ積極的に働きかけ活動していきます。

ぜひ関心のある方は、事務局の村井主事までご連絡下さい。



7月は安全就業強化月間です

安全管理委員会

委員長 清水 辰男

7月は、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が実施する「安全・適正就業強化月間」です。

これに従い、昭島市シルバー人材センターでも「安全就業強化月間」として、特に夏場の事故、病気に對する監視強化を図っています。

会員各位におかれましては『自分自身で守る』という基本を向上させ、夏期の安全対策の実施をお願いいたします。

なかでも重点課題は「熱中症対策」です。今年は暑い夏が予想されていますが、仕事の従事にあたっては、水やスポーツドリンクなどの携行をお勧めします。

さらに、こまめに飲むことで体温を下げ、熱中症にかからないよう配慮しましょう。

もうひとつは、屋外の作業においてのハチ、茶毒蛾などの防虫対策。手袋、長袖など、作業衣を工夫するだけでも、相応な予防となります。

この夏、作業中の事故や病気をゼロにする。これを目標にし、達成したいと考えております。

昭島チャレンジデー2012

パト・ボラ合同チーム中心で参加

「昭島チャレンジデー2012」（住民参加型のスポーツイベント）が5月30日に実施されました。

スポーツのほか、体を動かすことならどんな内容でも参加できるということで、当センターでは、パト・ボラ（パトロールボランティア）の合同チームでの参加を計画し、各中学校地区毎に実施しました。その結果が6月6日のパト・ボラ実行委員会で次のとおり発表されました。

- ・ 昭和中地区21名
- ・ 福島中地区19名
- ・ 瑞雲中地区17名
- ・ 清泉中地区26名
- ・ 多摩辺中地区12名
- ・ 拝島中地区32名

計127名、その他職群班と事務局からの13名を加え合計140名が参加して無事活動することができました。因みに、長崎県大村市と昭島市の住民の「参加率」での競争では、昭島市が勝利したことが広報「あきしま」で報告されました。

今回のイベントを通して、パト・ボラ登録者の意見交換会等で、社会奉仕活動の重要性について話し合われ、有意義な時間を過ごすことができました。

なお、例年夏休み期間中には、公園等で変質者が出没していますので、子ども達を守るために、水分補給に充分留意しながらパトロールを続けましょう。

昨年大好評

盛りあげよう

昭島シルバー

ふれあい祭り!!

会員の皆さんの相互の親交を深め、センターのPRを図るために、昨年手づくりで始めた「昭島シルバーふれあい祭り」を、趣向を凝らして今年も開催いたします。

実施概要は次のとおりです。

- ① 開催日時：9月30日(日) 午前10時～午後3時
- ② 会場：センター中庭
- ③ 内容：昨年の反省を活かして、イベント・模擬店も工夫して楽しいものになります。特に、子ども達を対象にした催し物を検討します。



質問コーナー

Q 配分金についてお聞きしたいのですが？
また、就業報告書に記入するときや、提出するとき
に注意することは何ですか？

A 仕事をしたときは、就業報告書に作業日と作業時間を記入し、事務局に提出してください。これをもちに配分金が計算されます。

センターでは給料や賃金とはいわないで「配分金」といいます。会員の年齢や体力に関係なく、平等に配分されるということ。「配分金」と呼ばれているのです。配分金の基準は仕事の種類によって違います。

配分金は、就業会員ごとに月の末日で締め切って、翌月の20日に郵便局に振り込まれます。事務局が振り込んだ金額の明細書は会員の自宅に郵送されます。

就業報告書に記入するときは、文字は正確に誤字や脱字のないようにお願いします。間違えた場合は、一本線で訂正してください。貼り紙や修正液の使用は就業報告書を機械で読みこむ際、読み違いの原因になるので厳禁です。

就業報告書の提出は、職種や仕事の内容によって異なります。単発の仕事は、作業終了後すみやかに事務局に提出してください。継続の仕事は、翌月センターの最初の営業日までに事務局に提出してください。

Q シルバー人材センターに「地区班」と「職群班」があるようですが、その違いについて教えてください。

A 昭島市には6つの中学校があり、その中学校ごとに設けられた班が「地区班」です。各地区班の下に、会員の住んでいる各町名ごとに分かれて組織されているのが「地域班」です。現在は54の地域班があります。

各地区班には、地区委員（理事）がいて、地区班会議などの運営にあたっています。また地域班には地域班長がいて、この会報「いずみ」の配布ほかセンターが行ういろいろな活動について協力をしていただいています。

会員の皆さんは、自分がどの「地区班」のどの「地域班」に所属しているかよく理解して、その地区班・地域班で行う会議や行事、ボランティア活動などにはぜひ積極的に参加してください。

「職群班」は仕事の内容に沿って区分されたグループです。現時点では、自転車管理班、休日自転車整理班、自転車等保管所班、学校管理班、広報配布班、植木班、塗装班、表具表装作業班、道路除草班、公園除草班、一般家庭除草班、家事援助サービス班、パソコン講師会、放課後子ども教室班などがあります。それぞれ班長を中心に皆で協力しあいながら仕事を進めています。

作品展示会

関連は従来どおり（作品展示喫茶コーナー）
— 手芸品販売等。

なお、後日センター用ポスターを作成して掲示しますので、大勢の皆さんの参加をお待ちしております。



会員作品展示会のお知らせ

日程

9月30日(日)～10月2日(火)

9時30分～16時まで

会場

センター1階会議室

作品募集

絵画、書、写真、陶芸、手芸、彫刻
絵手紙、その他

1人1分野2点まで

(ただし3分野まで可能)

作品申込

8月27日(月)～9月10日(月)

詳しくは、センター2階に設置してある、作品募集・出品申込票をご覧ください。

就 業 体 験 記

洋服リフォーム

職人気質ひとすじ

中神町 伊都祥昭

私は平成14年にシルバー人材センターに入会し、駐輪場、学校管理の業務を行うと同時に洋服の修理も受けてきました。駐輪場は体を動かす場所、仲間の方とも楽しく作業できた職場でした。

私は昭和28年より7年間縫製の年季奉公をし、10年ほど2、3の店で修行をつみ、32歳の時に立川の洋服店で職場の責任者として33年間勤め上げました。

職人の世界は自分の技能のすべてを織り込んで仕上げるただ一人の世界です。良くも悪くもすべて自分の責任で、諸規則にもほとんど縛られることなく、生涯を生きてきました。私は洋服に限らずどのような仕事であっても、丁寧に大切にきれいにという職人気質を貫き、より良い仕事をしていきたいと思えます。

なお、現在男性

スポン直し(ウエスト)や、女性のスラックスの丈ツメは千円前後より(素材により異なる)、他修理も一般の相場より安価で受けております。



筆耕

日々、持続と研鑽

東町 森田守

私が筆耕を始めたのは、シルバー人材センターに入会し、筆耕の講習会に参加したのがきっかけでした。

講師から、自分の名前を書き提出するよう言われ、自信をもっていったつもりが、いざ筆を持つて書く時、手が震え満足な字が書けなかった事を思い出します。

その後、毛筆筆耕友の会に加入し、練習を続け今日に至っております。4年前、初めてシルバー人材センターから筆耕を依頼された時は、日頃気軽に書いている字が緊張して大変苦労しました。

その後、練習を積み重ね、日本賞状書士協会の実用毛筆書士一級の資格を取得。依頼される方々から「シルバー人材センターなら安心して任せられる」と言われるようになるためには毎日の努力がいかに大切かを実感しています。

特に書道では「手

習いは坂で車をおすがごとし、油断すれば後に戻るぞ」との言葉どおり日々持続と研鑽に励んで良き仕事をしたいと思っております。



公園除草班

先輩に技術を学びながら

宮沢町 窪田勝次

公園の除草を始めて1カ月余りが経ちました。ご存知のように雑草はいたる所に生えています。平らな所に生えた草、植木の下やその周り、フェンスを這うつる草、芝生の中に生えている雑草等々。これらを早く要領よく取らねばなりません。取った雑草は最後に大きなビニール袋に入れます。

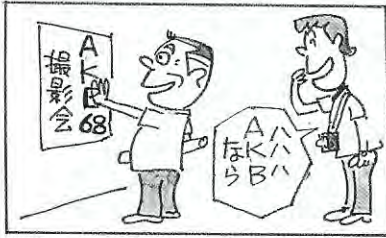
土と混ざった草を熊手を上手に使って草だけを集めるテクニク、鍬で穴を掘らないで雑草を刈り取る技術、また大きく伸びたイタドリは根元の途中を斜めに切らないこと(切り口が尖って子供が怪我をする)等々なるほどと思うことを先輩に教えてもらいました。

作業が終わって全体を眺めたとき「きれいになったもんだ」と一人感心することがあります。朝8時30分から夕方4時30分まで。重労働ですが皆様から喜ばれていると思うと、次の日もまた頑張ろうという気持ちになります。メタボ改善にはとてもいい仕事だと思っております。



かんぱれ！ シルバー

By ぶだ たけし



「元祖 AKB」5月号で2頁にわたり、おもしろい料理や活発な実習風景の写真など、輝かしい女性群の活躍が紹介されています。皆さんも見てくださいね。作りたくありませんよ。

●**保育園立ち番は3グループ**
4つのグループで構成される家事援助班では、毎月定例ミーティングを開催しています。
☆1グループ（一般家事）：
第2木曜13時30分

☆掲示板☆

近年の個人情報に関する制限と時代の流れを受け、これまでの「入退会者一覧」を掲載しないことになりました。代わって役に立つ諸種の情報提供や記事を心がけていきます。
そのひとつが「掲示板」です。掲載を希望する就業グループや委員会は、発行の1カ月前までに、できるだけ簡潔な原稿をセンター事務局までお届けください。

お知らせ

- ☆2グループ（高齢福祉）：
第2金曜9時30分
 - ☆3グループ（子育て支援）：
第2火曜13時30分
 - ☆4グループ（周辺作業）：
第2火曜13時30分
- なお、保育園幼稚園の立ち番の方は、第3グループの所属となっています。センター情報の恩恵を受けられるチャンスでもあり、積極的な参加をお待ちしています。

●英会話を体験しませんか？

英語が少しでもできれば楽しい世界が開けます。今年4月から「イキイキ・ニコニコ介護予防教室」に英会話教室が加まりました。10月からは2期目のクラスがオープンします。センターでは下記の要領で英会話教室を体験できます。

日時：9月13日（木）

午後1時30分～3時

会場：センター2階研修室

対象：会員を含む一般市民

初級レベル

持ち物：筆記用具

費用：無料

申し込み：9月6日までに往復は

がきに①住所②氏名③電話番号

を記載の上、センター事務局まで

お送り下さい。定員30人

（希望者が多い場合には抽選となります）



ちょっといい話

2月に行われた家事援助サービスの調理実習が月刊「シルバー人材セ



現在105歳の昇地三郎さん。子供が脳性小児麻痺だったことから養護学校「しいのみ学園」を設立し、障害児教育に尽力、数えの100歳を期してハーバード大学やケンブリッジ大学など世界一周講演旅行を続けてきています。

編集後記

その昇地さんの言葉です。

「だいたい世間の人は、年齢を基準にしてあれこれ考えたり行動したりする。これはいかんと思うんです。皆さんは、自分の年を考えすぎず、そのあげく、老感にさいなまれて、結局自分をダメにしてしまうようです。70歳になったら70歳らしく、80歳になったら80歳に余分なことはしない……これではいけません。年甲斐もなくなるとか、老人のくせに、と考えるはいけません。敬老とはお金をやって楽をさせることではない。多くの人が、年を取ったらどんな介護のサービスを受けられるか、あれこれ考えているようですが、これはさびしい。老人を働かせ、老人に元気を出させることです。まさにシルバー人材センターに通じていますよね。「いずみ」もそんな元気を届けられるような誌面にしていきたくと思っています。

広報委員会一同

カラグラフィ ニュース



母の日に向けてカーネーションの箱詰



ふれあい祭りには大きく育てさつまいも!!

郷土芸能まつりから



老人ホームを万華鏡が慰問



家事援助サービス班のレクリエーション (神代植物公園)



子どもまつりにボランティアで参加



安全就業標語

「まあいいや」と思う気持が 事故のもと